

2023年5月29日

電通のスタートアップグロースパートナーズと電通ベンチャーズ、 「SGPファンド」を共同展開

ー ファイナンスと事業支援の両面で、スタートアップの中長期の成長を支援 ー

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：榎谷 典洋、以下「電通」）でスタートアップ企業の支援をミッションとする専門組織「スタートアップグロースパートナーズ※」と、株式会社電通グループのコーポレート・ベンチャーキャピタル・ファンド「電通ベンチャーズ」は、新たに組成した「電通ベンチャーズSGP投資事業有限責任組合」（以下「SGPファンド」）の共同展開を2023年5月より開始しました。電通ベンチャーズが専門とするファイナンス領域と、スタートアップグロースパートナーズが専門とする事業成長領域の両面から、スタートアップの中長期の成長を支援していきます。

SGP FUND

2022年に政府が発表した「スタートアップ育成5か年計画」では、スタートアップの創業数に加えて「規模の拡大」すなわち「成長」に着目することの重要性が掲げられています。当社はこれまでもさまざまなスタートアップの支援を行ってきましたが、昨今、特に短期的なマーケティング・コミュニケーションに限定せず、「継続的な事業成長」の実現に向けた伴走型ソリューションへの期待やニーズが高まっています。

新たに展開していく「SGPファンド」では、電通ベンチャーズの投資および投資先支援の専門性と、電通が培ってきた幅広いソリューションや、その統合力および実行力を掛け合わせることで、スタートアップ企業による新たな社会価値の創造と、継続的な成長に貢献していきます。スタートアップグロースパートナーズの中には、出資後の持続的な成長を中長期の視点で支えるバリューアップチームがあり、スタートアップに適したソリューションを伴走しながらプロデュースしていける点にその特徴があります。

電通は、顧客企業と社会の持続的成長にコミットするパートナー「Integrated Growth Partner」（IGP、インテグレートド・グロース・パートナー）への進化の一環として、さまざまなスタートアップ企業のグロースパー

トナーとなること、またその取り組みを通してスタートアップ・エコシステムの発展に貢献していくことを目指し、今後も幅広い領域での支援・共創に取り組んでいきます。

■ 「SGPファンド」概要

名称	: 電通ベンチャーズSGP投資事業有限責任組合
組成時期	: 2023年3月
運用期間	: 2033年3月までの10年間で予定
投資地域	: 日本国内
投資ステージ	: シードからレイターまで幅広いステージに投資
URL	: スタートアップグロースパートナーズ https://dentsu-sgp.com/ 電通ベンチャーズ https://dentsu-v.com/

※ 2020年に前身となる社内横断プロジェクトが立ち上がり、2022年に40名規模の専門チームとして組織化。アーリーステージからレイターステージ、ポストIPOまでさまざまなスタートアップに対して、マーケティンググロース支援にとどまらず、大手企業とのアライアンス推進、資金調達やIPOに向けた成長ストーリー策定、JV（ジョイントベンチャー）による新規事業創出など、幅広い領域での成長支援に取り組んでいる。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

dentsu Japan コーポレートディベロップメントオフィス

田中、宮田、藤田

Email : jigyokoho@dentsu.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 スタートアップグロースパートナーズ

青井、内田

Email : sgp-contact@dentsu.co.jp